

仕上げの季節へ

校長 土居 正 明

村の古老が、今年は蜂の巣が縁側の下や植え込みの足下にあったよってん、こりゃ台風がようけ来るんちゃうか〜、と夏の始めに言っていたことを思い出しました。台風ばかりか、大きな被害を出した西日本豪雨、大阪北部や北海道胆振地方の大規模地震まで、まさに日本中を自然災害が襲いました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、復興に向かって立ち上がっておられる皆様にエールをお送りしたいと思えます。

さて、育友会会員の皆様方には、本校教育に御協力を賜っておりますことに御礼申し上げます。特に北稜祭におきましては、バザーを主催していただきました。心配した天候も何とか保ち、当日汗をかいていただいた役員様はもちろん、多くの会員の皆様方の御厚志を賜り、盛会のうちに終えることができました。収入の一部は災害等の支援基金に募金させていただきます。昨年度はこの収入からグランドの時計を新調させていただきました。ありがとうございました。

高等学校における各学年仕上げの季節が近づいております。全ての生徒が自分の力を信じ、自分の夢を見つけ、そして、夢が目標になり、道標を見つけて進んでほしいと願います。本所佑先生の数々の金言を咀嚼しながら、新しい時代に向かって生徒たちには大きな未来があるんだと信じます。御家庭と学校が同じ方向に向かって子どもたちを教え育むことができますよう、今後とも御協力よろしく願いいたします。